

外観



昭和60年に建てられた校舎。教育目標は「きらきら かがやく児童の育成」。

改修前



改修前は和式便器が多くて使えない子どもがいたり、湿式の床のため、掃除も敬遠されがちだった。

北棟3F 女子トイレ 全景



乾式清掃で衛生面に配慮。ブースは、大便器奥行のコンパクトさを有効活用し、空間にゆとりを持たせている。洗面カウンター高さは、高学年H700mm、中学年H650mm、低学年H600mmに設定している。

南棟1F 多機能トイレ



出入りしやすいように、入口前にスペースを確保。「大人も子どもも、障がいの有無に関わらず、だれでも使える空間」の要望に沿ってRESTROOM ITEM 01のフラットカウンター多機能トイレパックを選定。

北棟3F トイレ入口



入口には温かみのある木製のベンチを設置。荷物を置いたり友達を待ったり、授業の合間に子どもたちが集まって気分転換ができる場所となっている。

北棟3F 男子トイレ 全景



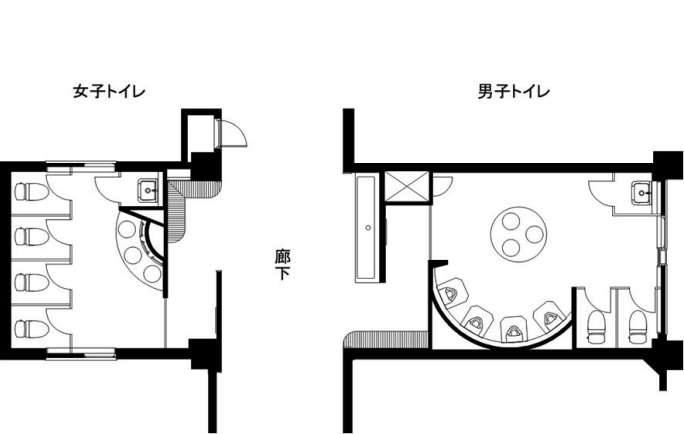
壁面のR形状とアイランド型の円形洗面器が、柔らかい雰囲気演出している。洗面器は非接触で止め忘れの無い自動水栓を選定。入口には身だしなみのチェックができるように大きな全身鏡を設置している。

南棟1F 保健室内 シャワーユニット



ケガをした際に患部を洗い流したり、粗相をした時のために、シャワーユニット（便器設置タイプ）を設置している。

北棟3F トイレ図面



北棟3F 男子トイレ 大便器ブース



連続洗浄ができるフラッシュタンク式便器に暖房便座を設置。将来的にウォシュレットを設置できるように、電源と給水が用意されている。便器の詰まりを取り除くことができる掃除口付きを選定。

北棟3F 男子トイレ SKブース



色のアクセントがついたガラスブロックを採用。トイレ全体に自然光が差し込み、さわやかな印象となっている。寒冷地のため、トイレにはパネルヒーターを設置している。

建築概要

名称	北杜市立須玉小学校
所在地	山梨県北杜市須玉町若神子200-2
施主	北杜市
設計	株式会社馬場設計
施工	＜建築＞早野組・フカサワ共同企業体 ＜電気＞中央電気・タキデン共同企業体 ＜設備＞大栄設備株式会社
竣工年月	（改修）2017年5月

水まわりの特長

＜改修の経緯＞
昭和60年に建てられた校舎は、外壁の劣化をはじめ老朽化が著しかったため、仮設校舎を設け今回の校舎大規模改修となった。以前は和式便器が多く、トイレに行くことを我慢したり、湿式の床のため児童が清掃をする際に服を濡らしてしまうことがあった。改修計画時に和式便器を残すかどうかの議論もあったが、利用頻度の少ない場所をつくってしまうことを避けることと、生活様式の変化にあわせて大便器はすべて洋式とした。北杜市では、今後3年かけて、小学校のトイレを100%洋式化する計画がある。

＜トイレの特長＞
開放的で明るくさわやかになった空間は、清潔感のある白を基調とし、窓には男女別に色分けしたガラスブロックを採用。円形の洗面カウンターを設置し、向かいあって会話が弾むようなトイレをつくった。小便器は、プライバシー配慮のため、R形状の壁に沿って並べることで、それぞれが違う方向を向くようにしている。大便器は、授業の合間の短い休憩時間にトイレが混雑することを避ける為、連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器フラッシュタンク式を選定。大便器のコンパクトさを有効活用し、洗面コーナーのスペースや通路幅を確保している。